

## 「パートナーシップ構築宣言」

当社は、サプライチェーンの取引先の皆様や価値創造を図る事業者の皆様との連携・共存共栄を進めることで、新たなパートナーシップを構築するため、以下の項目に重点的に取り組むことを宣言します。

### 1. サプライチェーン全体の共存共栄と規模・系列等を超えた新たな連携

直接の取引先だけでなくサプライチェーンの深い層の取引先に働きかけることにより、サプライチェーン全体での付加価値向上に取り組むとともに、既存の取引関係や企業規模等を超えた連携により、取引先との共存共栄の構築を目指します。

（個別項目）

#### a. 企業間の連携

映像制作会社、制作プロダクション、ロケ地所有者、自治体等との連携を強化し、ロケーション撮影における円滑な調整・運営体制を構築します。また、自社スタジオの運営を通じて、制作現場の多様なニーズに対応できる撮影環境の提供を行い、取引先との協業による価値創出を推進します。

#### b. IT 実装支援

自社ロケーションデータベースおよび AI 技術を活用し、撮影場所の検索・共有の効率化を図るとともに、取引先との情報連携の高度化を推進します。

#### c. 専門人材マッチング

映像制作会社や制作プロダクションとロケーションコーディネーターや制作進行等の専門人材をマッチングし、制作現場の人材不足の解消と品質向上に貢献します。

#### f. BCP/事業継続

災害時や緊急時においても撮影業務が継続できるよう、代替ロケーションの提案等を通じて取引先の事業継続を支援します。

### 2. 「振興基準」の遵守

発注方法の改善、対価の決定の方法の改善、代金の支払方法の改善、型等に係る取引条件の改善、知的財産の保護及び取引の適正化等を含む委託事業者と中小受託事業者との望ましい取引慣行（受託中小企業振興法に基づく「振興基準」）を遵守し、取引先とのパートナーシップ構築の妨げとなる取引慣行や商慣行の是正に積極的に取り組みます。

また、中小受託取引以外の企業間取引においても、取引上の立場に優劣がある場合には、公正かつ適正な取引の確保に努めます。

### 3. その他（任意記載）

当社は、ロケーション撮影およびスタジオ運営の両面から、制作会社における撮影環境の最適化と負担軽減に取り組めます。映像制作の現場においては、ロケーション手配や撮影環境の確保に多くの時間と人的コストがかかることが課題となっているため、当社は自社ロケーションデータベースおよびスタジオ機能を活用し、迅速かつ柔軟な撮影環境の提供を行います。これにより、制作準備から撮影本番に至るまでの工程における調整負荷の軽減、意思決定の迅速化、撮影クオリティの安定化を実現し、制作会社の業務効率と制作物の品質向上に貢献します。

また、短期間・スポットでのロケーションサポートやスタジオ活用提案を通じて、制作進行におけるボトルネックの解消を図り、サプライチェーン全体の生産性向上に寄与します。

さらに、ロケ地所有者や関連事業者との連携を強化し、撮影受入環境の整備や価値向上を推進することで、持続可能な撮影インフラの構築を目指します。

これらの取組を通じて、取引先との長期的な信頼関係の構築と持続的な価値創出を実現します。

2026年4月25日

受託中小企業振興法に基づく「振興基準」の内容を理解した上で宣言します。

株式会社ダイスロケーション 代表取締役 篠崎泰輔

(備考)

- ・本宣言は、(公財)全国中小企業振興機関協会が運営するポータルサイトに掲載されます。
- ・主務大臣から「振興基準」に基づき指導又は助言が行われた場合など、本宣言が履行されていないと認められる場合には、本宣言の掲載が取りやめになることがあります。

「パートナーシップ構築宣言」